

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

事業コード	14	事業名	起業・創業支援の強化による商工業者の育成			戦略コード	3	戦略名	事業者が主役の商工会		
商工会名	潟上市商工会	担当者名	千葉 恵美子	総轄者名	安田 幸博	施策コード	6	施策名	会員加入促進運動による活動強化		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

会員数の減少により組織力の低下が懸念されているなか、会員事業所の高度な課題に対応する個社支援を充実させるためには、会員増強による組織基盤の強化を図ることが求められている。

2. 事業のねらい

旧事業名「若手農業者へのアプローチによる事業化等の促進」でスタートしたが、農業者の実態把握が困難なことから、5年目には現事業名に変更し、創業支援を強化する。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	-	H30	C	R1	C	R2	C
-----	-----	---	-----	---	----	---	----	---

農業者の実態把握が困難なことから、加入促進につなげることができなかった。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

- ・ターゲットとして設定した農業者層へのアプローチ機会が少なく実績につながらなかったため、事業名を変更した。
- ・起業・創業支援の一環として農業者の6次産業化支援を強化し、会員加入促進を行った。

5. 事業内容と実績 達成度:a(事業を完遂した)、b(事業に着手したが未遂行)、c(事業に着手しなかった)

事業内容	実績	達成度
起業・創業支援の強化による創業実現数の増加と会員加入促進	・創業者をターゲットとして、加入促進した結果、5年間での新規会員100名の内、創業者は53件となった。 ・創業者加入は、会員加入に加え、ネットde記帳や共済加入等にもつながった。	a

6. 評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

項目	項目					項目					項目						
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 現状の課題に a(対応している) b(一部対応している) c(対応していない)	a
--	---

〈評価の理由〉

後継者不在による廃業予備群が多い当地域において、起業・創業を促進し、新たな事業者を育てることは、組織の基盤強化のみならず地域経済の活性化を促進するうえで必要な取り組みである。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【事業内容】「5. 事業内容と実績」「6. 評価指標と実績」の達成度が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)	a
---	---

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

創業者は諸手続きに関する支援や経営相談などを通じて商工会の必要性や加入メリットを理解し易いため、商工会で創業支援した場合の加入率は高い。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 コスト削減の取組は a(客観的で効果が高い) b(取り組んでいる) c(取り組んでいない)	a
--	---

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

県及び市の創業支援補助金の申請支援や創業融資など、本来の経営支援事業から自然に加入促進につなげているため効率的であるといえる。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合	A
--	---

創業支援を通じて事業者を育成することは、本会の組織基盤の強化と地域経済の活性化を図るうえで必要不可欠であり、商工会本来の経営支援事業を通じて得られる効果であることから評価性は高い。

3. 課題

- ・ホームページやSNS等を通じた創業支援に係る情報発信強化
- ・ホームページ等での創業者等に対する支援事例のPR

4. 今後の対応方針(改善点)

潟上市や金融機関等と連携を強化して創業支援を行い、確実に会員への取込みを行う。